

青少年共育委員会

委員長 柳 顕 彰
副委員長 前 田 和 範
委員 井 上 貴 光 ・ 黒 木 興 輔 ・ 下 徳 友 樹
田 中 真 二 ・ 枇 杷 木 由 香 理 ・ 山 本 勇 介

【基本方針】

現在、悲しい事件や過ちを犯す青少年が後を絶ちません。その背景には子どもたちの道徳心の低下が考えられます。子どもたちが、主体的な判断の仕方、本質を考える力など道徳心を養う必要があります。また、親たちも子どもたちの行動や自由な考えを目の当たりにする事で、驚きや今までにない気づきと共に学ぶ事も必要です。何事にも主体性をもち誠実に向き合う意志や自力で課題を乗り越える「生きる力」を育むことがとても重要です。

まずは、親と子ども自身が、何が良くて何が悪いかの基準をもち、親自身がぶれない軸をつくることで自分の言葉で伝えられる様に、道徳心について委員会メンバーで調査・分析し課題を抽出します。そして、親子それぞれの考え方を引き出すとともに、意見を共有することで他者の考え方や価値観に触れ、深め合うことで学びの場を創出します。さらに、子どもの道徳心を育むために、相手の立場になって考える、自分だったらどうするか考える想像力を学び、他人を思いやる心など、自分で歩みだせる力を身につけさせます。つぎに、子どもの「生きる力」を育むために、集団行動を通して主体的に困難なことに対して行動し、自分で動くことに大きな気づきや発見をし、積み重ねることで自分自身の成長に繋がります。そして、どんな状況でもたくましく生き抜く知恵や力を、親も子どもと楽しみながら一緒に学び身につけることで、家庭に戻ってからも継続して子どもの自発性を伸ばし「生きる力」を養える機会を構築します。また、これらの例会に参加した親たちと子どもたちに、J Cの活動と魅力の周知を図る事で、現在および将来の会員拡大に繋がります。

親と子どもたちは、絆を深め道徳心を身につけ、子どもたちが非日常的な体験を通じて、「生きる力」を養い、人間性が豊かになることで、主体的な行動と意識を変えて、この地域の将来を明るく照らし、子どもたちが未来を描ける、笑顔あふれる郷土を創造します。

【事業計画】

1. 青少年共育例会の実施（2例会）
2. サマーコンファレンス「横浜」への参加企画
3. 焼肉カーニバルへの協力支援窓口
4. 第46回宮崎ブロック大会実施への参画
5. 日本本会・九州地区協議会・宮崎ブロック協議会、及び出向者への協力支援
6. 共催事業への協力支援
7. 会員拡大 [最重要]